

平成28年度事業計画及び事業指標

項目	事業計画	事業指標
<p>1.依存症当事者及びその家族への専門的な相談、治療及び回復支援（医療機関に入院および通院している薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施を含む）</p>	<p>① 依存症相談窓口の運営 大阪府立精神医療センター医療福祉相談室において、依存症相談窓口を設置し、相談支援を引き続き実施。コーディネーター、相談窓口担当が2名体制で行う。</p> <p>② 大阪府立精神医療センターにて、入院認知行動療法（入院ほちほち）、外来認知行動療法（外来ほちほち）の充実及びノウハウの更なる蓄積 ○入院認知行動療法（入院ほちほち） ・前年度に引き続いて、定期的実施する。 ○外来認知行動療法（外来ほちほち） ⇒プログラムに自助グループ等との関わりを追加する方向で検討。 ・院内研修を実施し、認知行動療法に携わることができるスタッフの増加を目指す。 ・家族向けテキストの作成の検討。</p> <p>③ 大阪府立精神医療センターにて、ギャンプル依存症治療プログラムの実施及びノウハウの蓄積 ○専用テキストを作成し、それをを用いたプログラムを試行実施する。</p>	<p>・相談件数 （27年度と比較して相談件数が増加しているか） ・相談経路 （27年度と比較して相談経路が増加しているか） ・つなぎ（転帰）先 （27年度と比較してつなぎ（転帰）先の機関等が増加しているか）</p> <p>・関係機関のコーディネート件数の増加</p> <p>・入院ほちほち 参加者数の増加 ・外来ほちほち 参加者数の増加 ・参加者に対して 心理検査を実施し、効果を測定。</p> <p>・自助グループとの連携回数</p> <p>・認知行動療法に携わることができるスタッフ数の増加 （27年度と比較して増加しているか）</p> <p>・ギャンプル依存症治療プログラム 参加者数</p> <p>・ギャンプル依存症の相談・治療件数の増加</p>
<p>2.精神科医療機関等への助言・指導</p>	<p>① 薬物依存症治療に取り組んでいる医療機関、関係機関等に対して、薬物依存症認知行動療法プログラム（ほちほち）の見学受入及び意見交換</p> <p>② 民間病院及びクリニックへの薬物依存症認知行動療法プログラム（ほちほち）のモデル実施 ⇒ひがし布施クリニック及び汐ノ宮温泉病院でモデル実施</p>	<p>・見学受け入れ時のアンケートの実施。</p> <p>・プログラム実施回数、参加人数 ・課題等を取りまとめ</p>
<p>3.関係機関（精神保健福祉センター、保健所、市町村、自助団体、福祉事務所、保護観察所、公共職業安定所等）との連携・調整</p>	<p>① 大阪アクションセンター（OAC）の試験運用とこれに向けた準備</p> <p>② 関係機関と医療機関の連携の効率化を図る情報連携シート（入院時、外来受診時、退院時、再発時）の作成検討及び作成に向けた行政機関・司法機関等からの情報収集 ⇒情報連携シートを保健所等に試用依頼。意見収集</p> <p>③ 依存症治療検討部会及び地域生活支援検討部会の立ち上げ 依存症治療検討部会：部会に参加した医療機関が薬物依存症認知行動療法プログラム（ほちほち）を実施できる体制の整備を検討 地域生活支援検討部会：薬物依存症者の受入施設の増加に向けた検討</p>	<p>②使用依頼機関数</p> <p>③部会の開催数（3回を予定）</p>
<p>4.医療従事者、関係機関職員、依存症当事者及びその家族等に対する研修の実施</p>	<p>① 関係機関職員及び医療機関職員向け研修の実施</p>	<p>関係機関職員向け研修：ギャンプル1回、アルコール1回を予定 医療機関職員向け研修：薬物2回を予定</p> <p>①研修前後にアンケートを実施して効果測定</p>
<p>5.依存症当事者及びその家族、地域住民等への普及啓発</p>	<p>① 関係機関職員向けのギャンプル依存症パンフレットの作成 ⇒司法機関との連携ツールにも活用できるような内容を盛り込んだお金の使い方に関する内容 教育機関等との連携</p> <p>② 大阪府立精神医療センターのホームページ上で、依存症等に関する情報提供及び関係機関、関係団体等の広報協力 大阪府依存症対策推進協議会に係る事項の情報提供。 依存症関連の講演会、研修会、イベント等の情報を収集し、ホームページ上で情報提供。</p>	<p>①パンフレットの作成、配布機関数</p> <p>②情報掲載件数の変化（27年度との比較） 広報に協力いただいた件数（27年度との比較）</p>
<p>6.協議会の運営</p>	<p>① 第1回協議会 平成28年5月23日（月） 協議内容：平成28年度事業計画の策定 ※OAC連携会議を同時開催</p> <p>② 第2回協議会 平成28年10月頃 協議内容：平成28年度事業中間報告・事業の最終報告について ※OAC連携会議を同時開催</p> <p>③ 第3回協議会 平成29年2月頃 協議内容：平成28年度事業報告・事業の最終報告について</p>	
<p>7.協議会で定めた指標に必要な数値等の集計・整理(医療機関に入院及び通院中の薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施の実績、効果、課題等について集約、検討を含む)</p>	<p>① 全国拠点機関、他の拠点機関と集計項目等の情報交換を実施。</p>	
<p>8.その他依存症対策に必要な事項</p>	<p>① 大阪府立精神医療センターのホームページで当該事業の報告等 ② 報道機関への情報提供及び対応 ③ 厚生労働省・大阪府・全国拠点機関への提言</p>	